

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

## 使用上の注意改訂のお知らせ

非ステロイド型選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬

フィネレノン錠  
処方箋医薬品<sup>注)</sup>

ケレンディア<sup>®</sup>錠 10mg  
20mg

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

2026年3月

バイエル薬品株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおり改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。今後のご使用に際しましては「使用上の注意」に十分ご留意賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### I. 改訂の概要

改訂項目	改訂概要
2.禁忌 10.1 併用禁忌	「禁忌」及び「併用禁忌」に「セリチニブ(販売名:ジカディア)」を追記しました。


改訂内容につきましては医薬品安全対策情報(DSU)No. 344(2026年4月)に掲載される予定です。

最新の電子化された添付文書及び医薬品安全対策情報(DSU)は、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>にてご確認ください。

「添文ナビ」をダウンロードし、医薬品の外箱等に記載されたGS1バーコードを読み取るとPMDAウェブサイト上の最新の電子化された添付文書等を閲覧できます。

添文ナビの使い方は、下記の「添文ナビの使い方」をご参照ください。

[https://www.dsri.jp/standard/healthcare/tenbunnavi/pdf/tenbunnavi\\_HowToUse.pdf](https://www.dsri.jp/standard/healthcare/tenbunnavi/pdf/tenbunnavi_HowToUse.pdf)

ケレンディア錠 10mg 20mg	ケレンディア錠電子添文  (01)14987341113855
-------------------	--

## II. 改訂内容

改 訂 前	改 訂 後												
<p>2.禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 (略)</p> <p>2.2 イトラコナゾール、ポサコナゾール、ボリコナゾール、リトナビルを含有する製剤、ダルナビル、ホスアンプレナビル、コビシスタットを含有する製剤、クラリスロマイシン、エンシトレルビル、ロナファルニブを投与中の患者[10.1、16.7.3 参照]</p> <p>2.3～2.6 (略)</p>	<p>2.禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 (略)</p> <p>2.2 イトラコナゾール、ポサコナゾール、ボリコナゾール、リトナビルを含有する製剤、ダルナビル、ホスアンプレナビル、コビシスタットを含有する製剤、クラリスロマイシン、エンシトレルビル、ロナファルニブ、<u>セリチニブ</u>を投与中の患者[10.1、16.7.3 参照]</p> <p>2.3～2.6 (略)</p>												
<p>10.相互作用 (略)</p> <p>10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ボリコナゾール(ブイフェンド) リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ、パキロビッド) ダルナビル(プリジスタ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス) クラリスロマイシン(クラリス、クラリシッド) エンシトレルビル(ゾコーバ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) [2.2、16.7.3 参照]</td> <td>本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれがある。</td> <td>CYP3A を強く阻害することにより本剤のクリアランスが減少する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ボリコナゾール(ブイフェンド) リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ、パキロビッド) ダルナビル(プリジスタ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス) クラリスロマイシン(クラリス、クラリシッド) エンシトレルビル(ゾコーバ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) [2.2、16.7.3 参照]	本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれがある。	CYP3A を強く阻害することにより本剤のクリアランスが減少する。	<p>10.相互作用 (略)</p> <p>10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ボリコナゾール(ブイフェンド) リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ、パキロビッド) ダルナビル(プリジスタ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス) クラリスロマイシン(クラリス、クラリシッド) エンシトレルビル(ゾコーバ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) <u>セリチニブ(ジカディア)</u> [2.2、16.7.3 参照]</td> <td>本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれがある。</td> <td>CYP3A を強く阻害することにより本剤のクリアランスが減少する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ボリコナゾール(ブイフェンド) リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ、パキロビッド) ダルナビル(プリジスタ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス) クラリスロマイシン(クラリス、クラリシッド) エンシトレルビル(ゾコーバ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) <u>セリチニブ(ジカディア)</u> [2.2、16.7.3 参照]	本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれがある。	CYP3A を強く阻害することにより本剤のクリアランスが減少する。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ボリコナゾール(ブイフェンド) リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ、パキロビッド) ダルナビル(プリジスタ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス) クラリスロマイシン(クラリス、クラリシッド) エンシトレルビル(ゾコーバ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) [2.2、16.7.3 参照]	本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれがある。	CYP3A を強く阻害することにより本剤のクリアランスが減少する。											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ボリコナゾール(ブイフェンド) リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ、パキロビッド) ダルナビル(プリジスタ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、シムツーザ、プレジコビックス) クラリスロマイシン(クラリス、クラリシッド) エンシトレルビル(ゾコーバ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) <u>セリチニブ(ジカディア)</u> [2.2、16.7.3 参照]	本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれがある。	CYP3A を強く阻害することにより本剤のクリアランスが減少する。											

\_\_\_\_\_ : 下線部改訂箇所

## III. 改訂理由

今回の改訂は厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知によるものです。

### ● 「2.禁忌」、「10.1 併用禁忌」の項

セリチニブ(販売名:ジカディア)は強い CYP3A 阻害作用を有しており、併用により、本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれがあることから、「2.禁忌」、「10.1 併用禁忌」に追記しました。